



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第24号

令和5年3月 24 日

卒業おめでとうございます！



新型コロナウイルスが、世界中を恐怖の渦に巻き込んでから3年。ようやく収束の兆しが見られ、マスク着用の義務もなくなり、世の中に明るい光が見え始めました。

3月17日（金）、来賓として射水市教育センター 中林雅史様、本校PTA会長 牧野哲士様、学校評議員様にご臨席いただき、保護者の皆様、そして在校生を代表して5年生の子供たちに見守られる中、令和4年度卒業証書授与式を挙行了しました。

卒業生、教職員は原則マスクを着用しなくてもよいということになり、卒業生はマスク無しのきらきら輝く笑顔で入場してきました。卒業証書授与では、担任が一人一人呼名をし、子供たちが順に壇上に上がりました。私の目を真っすぐな目でしっかりと見て、卒業証書を受け取る姿に思わず感極まりました。式辞では、

わたしは、二年間皆さんと学校生活を共にしました。そして、毎朝、皆さんと挨拶を交わしてきました。私が思うよい挨拶とは、「相手の目を見て、お辞儀をして、心が伝わるような声でする挨拶」です。それを心がけるように言い続けてきました。なぜなら、そんな挨拶ができる人は、周りの人たちから愛され、信頼されるからです。人が生きていくうえで一番つらいのは、誰にも相手にされず、一人ぼっちでいることです。よい挨拶をすれば、仲間ができ、友達が増え、一人であることはなくなります。自分の周りにたくさんの方がいたら、困ったときや辛いとき、苦しいときに必ず誰かが助けてくれます。そうすれば、豊かで楽しい毎日を過ごすことができます。

とエールを卒業生に送りました。



そして、昨年度出来なかった「卒業生・在校生の呼びかけ・門出の言葉」です。卒業生が壇上に立ち、一人一人が心を込めて言葉を言いました。「6年生のみなさん」といった呼びかけの言葉で、在校生の感謝の言葉が始まりました。そして、卒業生全員で「巣立ちます」と大きな声で呼びかけた後、卒業歌「旅立ちの日に」のピアノ伴奏が聞こえてきました。今年は大村さんの生伴奏による合唱ができました。「いま、別れのと、飛び立とう 未来信じて～」の歌声で、思わず涙ぐんでしまいました。最後に関原さんの伴奏で校歌を斉唱して、式は無事に終わりました。

卒業生が立派に退場していく姿に、未来の飛躍を願わずにいられない気持ちになりました。凜とした空気感の素晴らしい心に残る卒業証書授与式でした。

卒業記念品の贈呈式



3月14日(火)、卒業式予行の後、卒業記念品贈呈式を行いました。6年の子供たちが体育館で式に臨みました。

卒業生の皆さんから学校へ卒業記念品として、学校にカラーテント一式をいただきました。式では卒業生代表の城内さんから目録受け取りました。来年度の運動会で、4色のカラフルなテントが五月晴れの空に映える姿を卒業生にも見てほしいと話しました。

その後、PTA記念品として、牧野会長から卒業生代表の那仁呼さんに卒業証書用ファイルとコサージュ、ペーパーウエイトが贈られました。どれも素敵な品々でした。また、牧野会長から、卒業生にお祝いの言葉もいただきました。



一年間、ありがとうございました！

4月より大きく環境が変わります。原則マスクの着用は学校でもなくなり、個人の判断にゆだねられます。ただし、やはりコロナに感染するのは怖いと思います。各ご家庭で、子供たちの健康安全のためにはどうしたらよいかについてよく話し合ってください。学校もすべての制限をなくすというわけではなく、引き続き感染が拡大しないよう心がけていきたいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様には、この一年間、学校運営に対して多大なご理解ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(校長 阿尾 昌 樹)